

きょうの紙面

2 ニコ☆プチ

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7 かほくワークシート

8 投稿特集



及川アドバイザーの

ぼうさい 学ぼう防災

8

寒くなって、「火」のお世話になることが多い季節となりました。みなさんにとっても、「火」はどんな存在でしょうか。

人間は、火を使う唯一の動物といわれています。火は、暗いときには光を与えてくれます。寒いときには、体を温め心をほっとさせてくれます。料理を作るときも、火があればメニューが広がります。自動車や飛行

おうちの火災原因と予防のポイント

製品評価技術基盤機構(NITE)提供



これからの季節はストーブを使うことが多くなります。洗濯物やおもちゃ、スプレー缶など燃えやすい物はストーブの近くに置かないようにしてください。

コンセントに差したままのプラグにほこりがたまっていませんか。ショートして火災になることがあります。



こころまわりやグリルの油污れは、火がつくと危険です。こまめにそうじをして、ふきんなど燃えやすいものは、こころの近くに置かないようにしてください。



意外な場所に火災の危険

「火」について考えよう

機、ロケットが動いたり飛んだりできるのも、火が重要な役割を果たしているからです。

もし、大地震が発生して、電気やガスが止まってしまっても、火を上手に使うことができれば、

電気やガスの代わりとなって私たちの生活を支えてくれます。人間にとって、火はなくてはならない大切な存在ですね。

しかし、そんな大切な火も、使い方を間違えると「火災」という命に関

わる危険な災害の原因になってしまいます。

2016年に仙台市内で発生した建物火災は149件で、うち99件は家が燃える住宅火災でした。出火原因として台所のこころやストーブ、電気配線などが多かったです。みなさんの家の中にも、意外な場所に火災の

危険がひそんでいるかもしれません。

毎日の生活の中だけでなく、もしも地震が発生したら…と想像しながら、火の近くに燃えるものが落ちてこないかなどを確認してみましょう。

(仙台市地震防災アドバイザー・及川由佳里)

|| 最終週に掲載

今週の注目ニュース

◇27日(月) 146回目の製造貨幣大試験(大阪造幣局)

ふだん使われている500円から1円までの貨幣などが、ちゃんと決められた重さで造られているかを調べる行事だよ。

◇12月1日(金) サッカーの2018年ワールドカップ・ロシア大会の組み合わせ抽選会(モスクワ)

32チームが4チームずつ八つのグループに分かれて、1次リーグを争う。日本の対戦相手は、どんな顔ぶれになるのかな。